

日本一広い高山市

海を持たず広大な面積を有する岐阜県は、名古屋に接する美濃地域と北陸に接する山間部の飛騨地域からなる。それぞれ異なる文化圏を持ち、特に飛騨高山市は周囲を山に閉ざされた盆地の都市。北東部に飛騨山脈（北アルプス）があり、槍ヶ岳や穂高岳などの名山を望む。また交通の難所で知られた安房峠や野麦峠もある。

近年全国的に町村の統合・合併が進んでいった。なかでも日本列島のほぼ中央に位置する高山市の面積は、大阪府全域と香川県を合わせたよりも広く東京都とほぼ同じで、これまで面積日本一であった静岡市を抜き 2005（平成 17）年に日本一（2177 km²）となる。ただ可住面積はほんの一部でしかなく、その大部分（92%）が山林で覆われている。



高山には江戸時代以来の城下町・商家町としての姿が保全されている貴重な景観が残されている。1970年代に旧国鉄が企画した観光キャンペーン「ディスカバージャパン」を始め、最近では「日本の原風景を残す街」として、更には仏ミシュランの実用旅行ガイド「ボワイヤジェ・ブラティック・ジャポン」では必見の観光地に紹介されている。

人口 9 万 2 千余人の高山市に観光客は年間約 400 万人。如何に観光における比重が高いかが分かる。春・秋の高山祭をはじめ良き伝統を大事に保管する「飛騨の小京都」は、日本国内外の人達に大きな魅力をこれからも与え続けるに違いない。

撮影 2010 年冬

